

教科	地理歴史	科目	日本史B	担当	
履修学年	3年	単位数	4	履修区分	普通科文系 (必修 2・3年分割履修)
教科書	改訂版 詳説日本史 (山川出版社)				
副教材等	図説日本史通覧 (帝国書院)				

1 学習目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	古代から近世初期の歴史について関心があり、意欲的に取り組む姿勢が見られる。
b	思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見だし、背景や影響を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現することができる。
c	資料活用技能	歴史的事象に関する諸資料を収集し、適切に選択して効果的に活用している。
d	知識・理解	古代～近世初期の歴史について、基本的な事項に関する知識を有する。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点					単元の評価規準	評価方法
					a	b	c	d	e		
前期	4	第6章 幕藩体制の確立	1 織豊政権	＊幕藩体制の成立とその特色や社会の仕組みから課題を見つけ、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地東アジアとの関係と関連付けて多角的に考察し、過程や結果を表現させる。	○	○	○	○		a 織豊政権、幕藩体制の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
			2 桃山文化		○			○		b 織豊政権、幕藩体制の特質から課題を見つけ、対外関係、支配体制と身分制度や儒学の役割、文化の特色と関連付けて考察している。	
			3 幕藩体制の成立					○	○	c 織豊政権、幕藩体制の特質に関する諸資料を活用して、歴史的事象を追究する方法を身に付け、考察した過程や結果を表現している。	
			4 幕藩社会の構造			○		○		d 織豊政権、幕藩体制の特質についての基本的な事柄を領国などその後の対外関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	
	5	第7章 幕藩体制の展開	1 幕政の安定	＊幕藩体制の展開とその特色から課題を見だし、東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察させる。	○			○		a 幕藩体制の下での農業や商工業の発展及び町人文化の形成、農山漁村の生活文化に対する関心と課題意識を高め意欲的に追究している。	
			2 経済の発展			○		○		b 幕藩体制下での産業の発展及び町人文化の形成から課題を見つけ、経済機構や交通・技術の発展、都市の繁栄と関連付けて考察している。	
6			3 元禄文化				○	○	c 幕藩体制下での産業、町人文化などの諸資料を活用し、歴史的事象を追究する方法を身に付け、考察した結果を適切に表現している。		
									d 幕藩体制下での農業や商工業の発展及び町人文化の形成、農山漁村の生活文化についての基本的な事柄を理解し、知識を身に付けている。		
前期中間考査											
前期	5	第8章 幕藩体制の動揺	1 幕政の改革	＊文治政治的な幕府政治が展開されるに至った背景や、商品経済の発展が封建制に及ぼした影響を考えさせる。	○			○		a 幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
			2 空暦・天明期の文化			○		○		b 幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成から課題を見だし、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想及び産業の新たな展開と関連付けて多面的・多角的に考察している。	
			3 幕府の衰退と近代への道					○	○	c 幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	
9		第9章 近代国家の成立	4 化政文化	＊列強のアジア進出とその対応の変化が幕藩体制や領国制に及ぼした影響について考えさせる。				○	○	d 幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成について、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	
			1 開国と幕末の動乱	＊近代国家の形成と社会や文化の特色についての基本的な事柄を、開国や幕府の滅亡や国際環境と関連付けて須合的に理解させる。	○			○		a 開国から立憲体制が成立するまでの我が国の近代化の推進に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	
			2 明治維新と富国強兵				○	○	b 我が国の立憲国家としての展開から課題を見だし、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。		
			3 立憲国家の成立と日清戦争					○	○	c 近代産業の発展と近代文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用して、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	
			4 日露戦争と国際関係					○	○	d 近代産業の発展と近代文化の特色に関する基本的な事柄を国民生活の向上や社会問題の発生と関連付けて理解し、知識を身に付けている。	
			前期末考査								

後 期	9	第9章 近代国家の成立	5 近代産業の発展	*近代産業の発展の経緯や近代文化成立の背景から課題を見いだし、社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充と関連付けて考察し、過程や結果を適切に表現させる。	○	○	○	○	a 開国から立憲体制が成立するまでの我が国の近代化の推進に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション	
		6 近代文化の発達		○	○	○	b 我が国の立憲国家としての展開から課題を見いだし、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。				
	5	第10章 近代日本とアジア	1 第一次世界大戦と日本	*第一次世界大戦の原因と経過、世界的意義をとらえ、日本が大戦にどのように対応し、また、大戦が日本経済に及ぼした影響について考えさせる。	○	○	○	○	a 第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響に対する関心と課題意識を高め、国際社会の中の日本の立場を意欲的に追究している。		
			2 ワシントン体制		○	○	○	○	b 政党の役割と政治や社会運動の動向及び文化の特色から課題を見いだし、都市の発達と大衆文化の成立と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。		
			3 市民生活の変容と大衆文化		○	○	○	○	c 第二次世界大戦と日本のかかわりに関する諸資料や、聞き取りなどによる様々な情報を収集し活用する方法を身に付け、歴史事象を追及し考察した過程や結果を適切に表現している。		
			4 恐慌の時代		○	○	○	○	d 第二次世界大戦と日本のかかわりに関する基本的な事柄を国際社会の動向、アジア近隣諸国との関係と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。		
			5 軍部の台頭	*軍国主義化が進展し、戦争の長期化が軍国主義のもとで総動員体制を進行させたことと枢軸体制の形成に向かわせたことについて理解を深める。	○	○	○	○			
			6 第二次世界大戦		○	○	○	○			
	11	後期中間考査									
		5	第11章 占領下の日本	1 占領と改革	*占領下の政治や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高める。	○	○	○	○	a 第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史に対する関心と課題意識を高め、多様な学習方法を通して意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	課題提出 授業態度 小テスト リフレクション
	2 冷戦の開始と講和			*独立後の政治・社会や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高める。	○	○	○	○	b 第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史から課題を見いだし、世界の動向と関連付けて多面的・多角的に考察し日本の文化や課題について認識するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。		
第12章 高度経済成長の時代	1 55年体制		*我が国の政治や対外関係の推移についての基本的な事柄を理解させる。	○	○	○	○	c 第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することや、博物館や文化遺産を活用することなどを通して、歴史的事象を追及する方法を身に付けるとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現している。			
	2 経済復興から高度成長へ			○	○	○	○	d 第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史についての基本的な事柄を世界の動向と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。			
2	第13章 激動する世界と日本	1 経済大国への道	*戦後経済復興、高度経済成長と科学技術の発展などを考察し、経過や結果を表現させる。	○	○	○	○				
		2 冷戦の終結と日本社会の変容		○	○	○	○				
		共通テスト演習									
		私大・二次演習									

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	10	10	10	10
b	40	40	40	40
c	10	10	10	10
d	40	40	40	40
計	100	100	100	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- 主体的に授業に参加し、質問や話し合いを通じて自ら考えをまとめ、根拠を示して表現する機会を設けます。
- 歴史的思考力を育てるため、自ら問いを立てる訓練と主題を設定し、多面的・多角的に考察できるよう工夫します。
- 理解を促すために、統計資料や文書画像などの史料を読み取り、活用できるようにします。